

科学研究費補助金（特別推進研究）研究進捗評価結果

課題番号	20001001	研究期間	平成20年度～平成24年度
研究課題名	清朝宮廷演劇文化の研究		
研究代表者名 (所属・職)	磯部 彰（東北大学・東北アジア研究センター・教授）		

【平成23年度 研究進捗評価結果】

該当欄		評価基準
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である

（評価意見）

本研究は、新しい研究分野である清朝宮廷演劇文化の性格と特徴に着目し、文化史上の意義を明らかにするという目的に即して、順調に進展している。基礎テキストの整備、戯曲の作品分析、清朝演劇の国家統治との関わり、周辺諸国の文化への影響、現代中国の精神文化への影響等、多方面で研究成果を挙げている。これらの成果は、論文集、学会、パンフレット、ホームページ等を通して、広く公開されている。研究の進展に応じて清朝政治史の専門家を加えるなど、研究組織も改善され、研究費の効果的な使用と相まって、着実に研究成果を挙げている。今後、テキストの悉皆調査の見通し、データベース化へのスケジュール等、研究全体の輪郭がより明確に示されれば、本分野のこれからの研究の基礎を築くものとして、本研究期間内に確実な研究成果を挙げるものとする。また、国際研究集会をより頻繁に開催し、英語で海外へ定期的に発信することを心がければ、より多くの実りある研究成果が期待できる。